

計画年度	平成30年度
計画変更年度	令和7年度
都道府県	静岡県
所在市町村	牧之原市

# 土地改良事業変更計画書

## 農村地域防災減災事業 ため池整備事業

ためいけぐん はぎまがわ  
ため池群萩間川 地区

事業主体	静岡県
------	-----

	目	次	
第1章 目 的	1	6. 級地別土地利用区分	16
第2章 地域及び地積	1	7. 土地配分計画	17
第1節 地 域	1	第3節 用水計画	17
第2節 地 積	1	1. 計画基準年	17
第3章 現 況	2	2. 計画かんがい方式	17
第1節 気象及び海象	2	3. 計画用水系統	17
1. 一般気象	2	4. 計画用水量	17
2. 特殊気象	2	5. 水源計画	18
3. 海 象	3	第4節 排水計画	21
第2節 土地状況	3	1. 計画基準雨量	21
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3	2. 計画排水方式	21
2. 土地分類	4	3. 計画排水系統	21
3. 土地利用の状況	4	4. 計画排水量	21
4. 土地所有の状況	5	5. 排水対策	21
第3節 水利状況	5	6. 湛水検討	22
1. 用水状況	5	第5節 道路計画	22
2. 排水状況	7	1. 道路及び索道	22
3. 河川状況	9	2. 路線配置図	22
第4節 道路現況	9	第6節 農用地造成計画	23
1. 道路概況	9	1. 農用地造成計画	23
2. 主要道路一覧表	9	2. 土壌改良	23
第5節 地域農業の概況	10	第7節 洪水調節計画	23
1. 産業別就業人口	10	1. 計画基準雨量	23
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	10	2. 計画洪水量及び調節量	23
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	11	3. 貯水池	23
4. 主要作物作付状況	12	4. 洪水調節検討	24
5. 農業の動向	13	5. 管理計画	24
第6節 地域環境の概況	13	第8節 干拓計画	24
第4章 一般計画	14	第9節 農用地整備計画	24
第1節 事業計画の要旨	14	1. 区画整理	24
1. 要 旨	14	2. 暗渠排水	25
2. 事業別面積	14	3. 客 土	25
第2節 営農計画及び土地利用計画	14	4. 農地保全	25
1. 営農計画の概要	14	第10節 老朽ため池改修計画	26
2. 土地利用区分	14	1. 洪水吐改修計画	26
3. 作付方式	15	2. 堤体補強計画	26
4. 生産計画	15	3. 取水施設改修計画	26
5. 労働改善計画	16	第5章 主要工事計画	27
		第1節 用水施設	27
		1. 貯水池	27
		2. 頭首工	27

3. 揚水機	27
4. 用水路	27
5. その他かんがい施設	28
第2節 排水施設	28
1. 排水水門	28
2. 排水機	28
3. 排水路	28
4. その他排水施設	28
第3節 道路及び索道	29
1. 道 路	29
2. 索 道	29
第4節 農用地造成	29
1. 農用地造成	29
2. 土壌改良	30
第5節 洪水調節施設	31
1. 貯水池	31
2. 頭首工及び導水施設	31
第6節 干拓施設	31
1. 堤 防	31
2. 潮止め	31
3. 付属施設	31
4. 埋 立	32
第7節 農用地整備施設	32
1. 区画整理	32
2. 暗渠排水	33
3. 客 土	33
4. 除 礫	33
5. 農地保全	34
第8節 老朽ため池改修施設	35
1. 貯水池	35
2. 堤体補強施設	35
第6章 附帯工事計画	35
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	35
第8章 環境との調和への配慮	36
第9章 換地計画の概要	37
第1節 換地計画を作成する上での 基本的な考え方	37
第2節 換地区の設定	37
1. 換地区の名称, 所在, 面積	37
2. 換地区を設定する理由	37

第3節 換地計画樹立の基本方針	37
1. 従前の土地の面積の基準	37
2. 用途別予定地籍	38
3. 農用地集団化の方針	38
4. 非農用地の換地方法	38
第4節 土地の評価及び精算の方法	39
1. 評価の方法	39
2. 精算の方法	39
第5節 換地計画樹立の年度計画	39
第6節 換地処分の特則に関する特則	39
第10章 事業費の総額及び内訳	40
第11章 効 用	41
第12章 関連する事業	41
第13章 現況・計画図面	41
1. 計画一般図	42
2. 計画平面図	43
3. 土地利用計画図	48

## 第1章 目 的

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震と言われ、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地 域 (第1表)

事 業 名	地 域
農村地域防災減災事業 ため池整備事業	牧之原市 白井 地内ほか

### 第2節 地 積 (令和7年8月 現在) (第2表)

事 業 名	現況地目	田 ( ha )	畑 ( ha )	原 野 ( ha )	山 林 ( ha )	その他 ( ha )	計 ( ha )	備 考
	市町村名							
農村地域防災減災事業 ため池整備事業	牧之原市	54.2 (49.4)	(3.9)				54.2 (53.3)	柄沢池、西沢池、土沢池、 松本池、松本新池
								(ため池群萩間川地区)
合 計		54.2 (49.4)	(3.9)				54.2 (53.3)	上段:変更前 下段:変更後

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(気象庁HP「過去の気象データ」より)

観測所名 浜松特別地域気象観測所 観測期間 1971～2000		かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	年間 合計/平均	備考
平均気温		23.5 °C	11.1 °C	16.3 °C	
降水量	平均	1021.5 mm	787.8 mm	1809.3 mm	
	基準年	803.1 mm	581.4 mm	1384.5 mm	S.22年度(天竜川下流部)
降水日数 (1.0mm以上)	平均	53日(月平均 10.6日)	53.5日(月平均 10.7日)	106.5日(月平均 8.9日)	
	基準年	41日(月平均 8.2日)	49日(月平均7.0日)	90日(月平均 7.5日)	S.22年度(天竜川下流部)
無霜期間(平年値)		3月15日 ～ 12月4日		1970秋～2000春	
最多風向		WNW	最大瞬間風速 42.0m/s(SSE)		最多風速:1971～2000(16方位) 最大風速:1941～2005(16方位)

##### 2. 特殊気象

観測所名	浜松特別地域気象観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
観測期間	M37～H27															
最大時間雨量	(mm)	85.5	S.57.11.30 7	1/70	82.5	H.6.9.17 24	1/54	72.5	S.50.10.7 24	1/23	71.0	S.12.7.14 11	1/20	70.0	S.27.9.1 9	1/18
最大4時間連続雨量	(mm)	166.0	S.50.10.7 21～24	1/67	154.0	S.46.8.31 1～4	1/40	150.5	H.6.9.17 22～1	1/35	148.0	S.55.7.30 17～20	1/31	137.0	H16.11.11 23～2 H26.10.6 5～8	1/19
最大日雨量	(mm)	344.1	M.43.8.9	1/307	308.2	M.44.8.4	1/132	301.1	S.16.7.12	1/111	272.6	S.13.8.2	1/57	271.0	S.18.10.10	1/55
最大連続雨量	(mm)	690.5	S.49.7.5 ～7.20	1/144	688.1	M.43.8.4 ～8.10	1/141	628.2	M.38.6.10 ～6.28	1/82	624.4	S.7.9.4 ～9.18	1/79	521.4	S.13.6.24 ～7.5	1/31
最大連続干天日数	(日)	71.0	S.14.11.23 ～2.1	1/210	71.0	S.48.11.11 ～1.20	1/210	57.0	S.50.12.10 ～2.4	1/44	55.0	S.3.12.25 ～2.17	1/35	54.0	S.17.11.18～1.10 H17.11.13～12.31	1/31
三日連続雨量	(mm)	642.4	M.43.8.8 ～10	1/2551	382.8	S.13.8.1 ～3	1/46	378.5	S.57.9.10 ～12	1/43	368.8	M.44.8.3 ～5	1/37	363.0	S.46.8.30 ～9.1	1/34

3. 海象

※該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高潮 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮 (m)	備考
	年～年								
実測値									

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高 (m)		備考				
		傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上		計	最高	最低	
											8°～10°	10°～15°	8°～15°							
農村地域防災減災事業 ため池整備事業	面積 ha		24.1 (23.6)				24.1 (23.6)										14.2	2.7	柄沢池	
	比率 %		100 (100)				100 (100)													
	面積 ha		11.1 (11.1)				11.1 (11.1)										23.2	13.1	西沢池	
	比率 %		100 (100)				100 (100)													
	面積 ha			7.4 (7.0)			7.4 (7.0)										53.2	15.4	土沢池	
	比率 %			100 (100)			100 (100)													
	面積 ha			4.1 (4.1)			4.1 (4.1)										13.0	6.2	松本池	
	比率 %			100 (100)			100 (100)													
合計	面積 ha	-	35.2 (34.7)	15.1 (14.7)	-	-	50.3 (49.4)	-	-	-	-	-	-	-					変更前 変更後	
	比率 %		70 (70)	30 (30)			100 (100)													

(第4表-1-2)

項目	土壌統(区)区分一覧表										面積 (ha)		備考		
	土壌断面										事業名				
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性				泥炭層, 黒泥層 及び グライ層	堆積 様式	母材	農村地域防災減災事業 ため池整備事業		計	
					表土	下層土									
一層					二層	三層	...								
上土方統	灰	あり	あり	なし	CL	CL	LiC			-	集積				細粒灰色低地土壌
掛川1統	暗褐	あり	あり	なし	LiC	LiC	LiC			-	集積	54.2 (53.3)		54.2 (53.3)	残積性未熟土壌
掛川2統	にぶい黄褐	あり	あり	なし	CL	LiC	LiC			-	集積				残積性未熟土壌
計												54.2 (53.3)		54.2 (53.3)	上段:変更前 下段:変更後

※該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 蝕 の 程 度		備 考
		0	0~ 25%	25~ 50%	50% 以上	0	3mm 未 満	3~ 5mm	5mm 以上	中 程 度 の も の	大 なる も の	
	面 積 (ha)											
	比 率 (%)											

2. 土地分類

※該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四 級 地		
※		3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※	30° 以上 (ha)		
計												※は傾斜以外の 要因によるもの

※該当なし

(第4表-2-2)

級位別 市町村名	干				拓	計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)			
計							

3. 土地利用の状況

(令和7年8月 現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶 園 (ha)	その 他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村地域防 災減災事業 ため池整備 事業	牧之原市	54.2 (49.4)	(0.3)			(0.1)						(3.5)	54.2 (53.3)	柄沢池、西沢池、土沢池、 松本池、松本新池
													-	
合 計		54.2 (49.4)	- (0.3)	-	-	(0.1)	-	-	-	-	-	(3.5)	54.2 (53.3)	上段:変更前 下段:変更後

4. 土地所有の状況

(令和7年8月 現在)

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	部落所有	市町村所有	国所有	計	備考				
	区分											
農村地域防災 減災事業 ため池整備事 業	面積 (ha)		54.2 (53.3)				54.2 (53.3)	柄沢池	西沢池	土沢池	松本池	松本新池
		受益者数 (人)		252 (219)				131人	58人	34人	14人	15人
	筆数 (筆)		724 (678)				724 (678)	312筆	251筆	97筆	29筆	35筆
		権利関係						(307筆)	(213筆)	(94筆)	(29筆)	(35筆)
	備考 (関係戸数)		256 (213)				256 (213)	131戸	59戸	36戸	15戸	15戸
合計	面積 (ha)		54.2 (53.3)				54.2 (53.3)					
		受益者数 (人)		252 (219)				252 (219)				
	筆数 (筆)		724 (678)				724 (678)					
		権利関係										
	備考 (関係戸数)		256 (213)				256 (213)					上段:変更前 下段:変更後

第3節 水利状況

1. 用水状況

現況と同じ

(1) 用水系統

※該当なし

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権 (最大)		慣行水利権		延べ取水量	備考
		10 ha 以上		5~10 ha		5 ha 未満		箇所	ha	箇所	m3/S	箇所	m3/S	m <sup>3</sup> /S	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防災 減災事業 ため池整備事 業	貯水池	2	39.0	1	7.4	2	7.8	5	54.2						
		(2)	(38.5)	(1)	(7.0)	(2)	(7.8)	(5)	(53.3)						
	井 堰														
	自然取入口														
揚水機															
その他															
合計		2 (2)	39.0 (38.5)	1 (1)	7.4 (7.0)	2 (2)	7.8 (7.8)	5 (5)	54.2 (53.3)						上段:変更前 下段:変更後

(イ)改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	系統名	施設名							
農村地域防災減災事業 ため池整備事業	貯水池	柄沢池	24.1 (23.6)	アースダム傾斜コア型	堤長 99.0m 堤高 10.3m	江戸時代以前	耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす状況である。 また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震と言われ、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。		
		西沢池	14.9 (14.9)	アースダム傾斜コア型	堤長 78.0m 堤高 8.5m	明治時代			
		土沢池	7.4 (7.0)	アースダム均一型	堤長 56.0m 堤高 8.0m	明治時代			
		松本池	4.1 (4.1)	アースダム傾斜コア型	堤長 65.0m 堤高 7.6m	明治時代			
		松本新池	3.7 (3.7)	アースダム傾斜コア型	堤長 90.0m 堤高 7.5m	大正時代			
	井堰								
	自然取入口								
	揚水池								
	用水路								
	その他								
合計			54.2 (53.3)					上段:変更前 下段:変更後	

(3)用水に関する被害状況

(ア)用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	系統名 項目	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m <sup>3</sup> /S)	基準年 (m <sup>3</sup> /S)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )			
合計										

(イ)その他の被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業 ため池整備事業	59.2 (58.3)	4.3 (7.9)	3.7 (0.1)	67.2 (66.3)	123,785 (147,195)	- (0)	465,789 (630,753)	- (0)	1,057,226 (999,568)	1,646,800 (1,777,516)	
合計	59.2 (58.3)	4.3 (7.9)	3.7 (0.1)	67.2 (66.3)	123,785 (147,195)	- (0)	465,789 (630,753)	- (0)	1,057,226 (999,568)	1,646,800 (1,777,516)	上段:変更前 下段:変更後

2. 排水状況

※該当なし

(1)排水系統

※該当なし

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

※該当なし

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			500ha以上		500ha~100ha		100ha未満						
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計													

(イ)改修を要する施設一覧表

※該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計									
合計									

(3)排水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考
				湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
合計		0.0	平均													
			基準年													

3. 河川状況

(1) 河川の状況

※該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /S)	既往最大洪水量 (m <sup>3</sup> /S)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

※該当なし

.....

2. 主要道路一覧表

※該当なし

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総	農	林	漁	鉱	建	製	道熱電	運通	飲卸	金保	不	カー	公	そ	備 考
	数	業	業	業	業	設	造	供給ガ	信	売小	険	動	ー	務	他	
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	業水ス	輸業	店業	融業	産業	ビス業	(人)	(人)	
牧之原市	25,691	3,202	6	158	24	1,870	8,182	90	1,308	4,250	305	181	5,394	522	199	平成27年度 国勢調査 令和2年度 国勢調査
	(23,875)	(2,501)	(4)	(137)	(24)	(1,734)	(8,064)	(90)	(1,276)	(3,609)	(262)	(204)	(5,159)	(521)	(290)	
計	25,691	3,202	6	158	24	1,870	8,182	90	1,308	4,250	305	181	5,394	522	199	
比率(%)	100.0	12.5		0.7		7.3	31.8	0.4	5.1	16.5	1.2	0.7	21.0	2.0	0.8	
	(100.0)	(10.4)		(0.7)		(7.3)	(33.8)	(0.4)	(5.3)	(15.1)	(1.1)	(0.9)	(21.6)	(2.2)	(1.2)	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

項目 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専業別農家戸数 (戸)			備 考	
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当り団地数	団地当り面積	専業	兼業		
			ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha											第1種		第2種
牧之原市	2,044	58	196	387	232	126	213	205	64	10	0	553	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			463	402	626	2015年農林業センサス 2020年農林業センサス
	(1,587)	(119)	(158)	(223)	(131)	(75)	(164)	(151)	(66)	(19)	(9)	(526)	(0.2)	(0.1)	(1.2)	(1.5)	(0.0)	(1.5)						
計	2,044	58	196	387	232	126	213	205	64	10	0	553	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			463	402	626	
比率(%)	100.0	2.8	9.6	18.9	11.4	6.2	10.4	10.0	3.1	0.5	0.0	27.1	14.3	7.1	78.6	100.0	0.0	100.0			31.0	27.0	42.0	上段:変更前 下段:変更後
	(103.4)	(7.4)	(10.0)	(14.1)	(8.3)	(4.7)	(10.3)	(9.5)	(4.2)	(1.2)	(0.6)	(33.1)	(13.3)	(6.7)	(80.0)	(100.0)	(0.0)	(100.0)						

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜								備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	
牧之原市	523 (523)	495 (495)	420 (420)	412 (412)	224 (224)	219 (219)					X (0)	1 (0)	X (0)	2 (2)	6,456 (5,438)	9 (9)	800 (560)	4 (3)	2015年農林業センサス 2020年農林業センサス
																			※動力農機具について未掲載のため2015年を記載
計	523 (523)	495 (495)	420 (420)	412 (412)	224 (224)	219 (219)					0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	6,456 (5,438)	9 (9)	800 (560)	4 (3)	上段:変更前 下段:変更後
100戸当たり数量(台)		106 (106)		102 (102)		102 (102)													台/戸数
利用戸数割合(%)		24.2 (24.2)		20.2 (20.2)		10.7 (10.7)					0.0 (0.0)		0.1 (0.1)		0.4 (0.4)		0.2 (0.1)		戸数/農林業経営体数×100

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 名			牧之原市			計	平均	作付率 (%)	備 考	
総耕地 面積 (ha)			2,729 (2,409)			2,729 (2,409)	2,729 (2,409)			
総本地 面積 (ha)			2,662 (2,350)			2,662 (2,350)	2,662 (2,350)			
区 分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)		
田	表作	水稲	524 (499)	520 (546)			524 (499)	520 (546)	20% (21%)	総耕地面積 ・2015年農林業センサス (H27) ・2020年農林業センサス (R2)  作付面積・単位面積当たり収量  総本地面積の算定 ・本地面積／総面積 (牧之原市) 3,648 / 3,740 = 0.9754  ・総耕地面積×0.9754 = 総本地面積  本地面積記載最終年度 第37次 静岡農林統計年報 (H元) P28 参照
	裏作									
	小 計		524 (499)				524 (499)			
畑		だいこん	35 (34)	1,810 (1,810)			35 (34)	1,810 (1,810)	1% (1%)	
		冬レタス	124 (126)	3,310 (3,310)			124 (126)	3,310 (3,310)	5% (5%)	
		大豆	3 (1)	133 (97)			3 (1)	133 (97)	1% (1%)	
	小 計		162 (161)				162 (161)			
	小 計					0				
計			686 (660)				686 (660)		26% (29%)	
市町村別延べ作付率(%)			26% (29%)						上段:変更前 下段:変更後	

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B (H22)	A (現在)		B (H22)	A (現在)	作物名	B (H22)	A (現在)	家畜名	B (H22)	A (現在)	農機具名	B (H22)	A (現在)		
変化 の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	89	74	耕地	95	85	水稻	138	134	乳用牛	0	0	動力田植機	88	88	A:現在 平成27年 (農林業センサス2015)  B:平成22年 (農林業センサス2010)  C:平成17年 (農林業センサス2005)	
	専業農家数	110	102	田	95	81	0	74	65	肉用牛	0	0	トラクター	78	63		
	第一種兼業 農家数	65	46	畑	88	94	0	111	107	豚	82	131	コンバイン	66	59		
	第二種兼業 農家数	91	66	樹園地	95	86	0	100	75	採卵鶏	0	0					
	農 業 従事者数	55	42														
変化 の 理由	社会経済の発展や農業構造の発展が進み、他産業への就労機会の増大により総農家数が減少傾向にある。			基盤整備等による変化			営農形態の変化			生産環境の変化			農業経営の変化による				

第6節 地域環境の概況

市街地の背後に位置する森林は、木材の供給はもとより、土砂流出などの国土の保全や野生鳥獣の生息地になっているとともに、市街地への新鮮な大気の供給などの公益的機能を持ち、その大切さが認識されてきている。

しかし、市街地の周辺においては、都市的な土地利用への転換に伴って樹林地が徐々に減少しつつあり、また、地権者の高齢化や薪炭林としての利用価値が失われたことなどにより管理が放置され、荒廃した樹林地が多くなっている。荒廃した樹林地は、樹木が密生してうっそうとし、人が近づきにくい環境であるとともに、様々な機能を持った森林空間としての存在価値も著しく低下していると考えられる。

このようなことから、本市の市街地を取り巻くまとまった森林は、都市的な発展と調和させ、保全・活用を図るための方策を検討し、自然環境との共存共生システムを次世代へと受け継いでいくことが重要である。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時には、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震と言われ、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農村地域防災減災事業						ため池整備事業						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
ため池改修整備補強	24.1 (23.6)					24.1 (23.6)							24.1 (23.6)	柄沢池
ため池群萩間川地区	11.1 (11.1)	0.3 (0.3)			3.5 (3.5)	14.9 (14.9)							14.9 (14.9)	西沢池
	7.4 (7.0)					7.4 (7.0)							7.4 (7.0)	土沢池
	4.1 (4.1)					4.1 (4.1)							4.1 (4.1)	松本池
	3.6 (3.6)				0.1 (0.1)	3.7 (3.7)							3.7 (3.7)	松本新池
計	50.3 (49.4)	0.3 (0.3)			3.6 (3.6)	54.2 (53.3)							54.2 (53.3)	上段:変更前 下段:変更後

### 第2節 営農計画及び土地利用計画

#### 1. 営農計画の概要

※該当なし

#### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農村地域防災減災事業	現況	50.3 (49.4)	0.3 (0.3)			0.1 (0.1)	3.5 (3.5)	54.2 (53.3)				54.2 (53.3)	
ため池整備事業	計画	50.3 (49.4)	0.3 (0.3)			0.1 (0.1)	3.5 (3.5)	54.2 (53.3)				54.2 (53.3)	
計	現況	50.3 (49.4)	0.3 (0.3)			0.1 (0.1)	3.5 (3.5)	54.2 (53.3)				54.2 (53.3)	
	計画	50.3 (49.4)	0.3 (0.3)			0.1 (0.1)	3.5 (3.5)	54.2 (53.3)				54.2 (53.3)	上段:変更前 下段:変更後



5. 労働改善計画

※該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
	計		0.0					

6. 級地別土地利用区分

※該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成					干拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地 (果樹園)											

7. 土地配分計画

※該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)									備 考
		田	輪換耕地	畑						計	
				普通畑	牧草畑	樹園地					

第3節 用水計画

1. 計画基準 ※該当なし

2. 計画かんがい方式 ※該当なし

3. 計画用水系統 ※該当なし

4. 計画用水量

(1)かんがい用水

※該当なし

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい			田 畑 輪 換					消費 水量 (m3/S)	損 失 量 (m3/S)	粗用水量		備考
		事業名 農村地域 防災減災 事業 ため池整 備事業	普通期	代掻期	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (m3/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	水 田 かん がい			畑 地 かん がい				平均 最大 (m3/S)		
			計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 単位用水 量 (mm/日)					普通期	代掻期	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)				面 積 (ha)	
			(mm/日)	(mm/日)	(mm/日)	(mm)	(mm/日)	(日)	(ha)									

(2) 営農飲雑用水

※該当なし

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積			日 当 り 給 水 量		補給回数	関係戸数	備 考
		事 業 名			単 位 給 水 量	最 大 給 水 量			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

※該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d = α(1-a) (千m3)	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 量		水 源 保 存 量		水 源 工 種	備 考
					水 源 名	取 水 地 点 利 用 可 能 量 e (千m3)	田 畑 面 利 用 可 能 量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足 水 量 h=d-e (千m3)	水 源 名	水 量 (千m3)		

## (2) 用水対策

## (ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (ha)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接	田	畑・その他	計					
	柄沢池	32.0 (32.0)		24.1 (23.6)	0.0 (0.0)	24.1 (23.6)	39.0 (39.0)			
西沢池	14.0 (14.0)		11.1 (11.1)	3.8 (3.8)	14.9 (14.9)	32.0 (32.0)			0.154 (0.154)	
土沢池	5.0 (5.0)		7.4 (7.0)	0.0 (0.0)	7.4 (7.0)	31.0 (31.0)			0.060 (0.060)	
松本池	1.0 (1.0)		4.1 (4.1)	0.0 (0.0)	4.1 (4.1)	5.3 (5.3)			0.050 (0.050)	
松本新池	2.0 (2.0)		3.6 (3.6)	0.1 (0.1)	3.7 (3.7)	7.9 (7.9)			0.060 (0.060)	
計	54.0 (54.0)	- (0.0)	50.3 (49.4)	3.9 (3.9)	54.2 (53.3)					上段:変更前 下段:変更後

## (イ) 井堰及び自然取入口

※該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水水量		渇水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業			最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)		
			地区内	地区外	計				
								-	

## (ウ) 揚水機

※該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業			最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		地区内	地区外	計							

(エ)用水路

※該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最 通 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	地区内	地区外	計				

(オ)その他の水源

※該当なし

(3)水温水質

※該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 ※該当なし
- 2. 計画排水方式 ※該当なし
- 3. 計画排水系統 ※該当なし
- 4. 排水量

※該当なし

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全洪水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	事業			(ha)			山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	農地	その他	計	山地	平地							自然排水	機械排水			
							計	計								
計																

5. 排水対策

(1)排水水門

※該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		計	計	計						

(2)排水機

※該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		計	計	計						

(3)排水路

※該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計排水量 (m3/S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業						名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計							

(4)その他

6. たん水検討

※該当なし

(第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m3/S)	既設排水能力 (m3/S)	必要排水能力 (m3/S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考	
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間		

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1)道路

※該当なし

(第12表-1)

路線名	項目 幅員(有効) × 延長(m)	構造	既設道路との関係	備考

(2)索道

※該当なし

(第12表-2)

路線名	項目 能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

※該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

※該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2. 土壌改良

※該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積	土壌	pH		置換酸度 (V)	リン酸吸収 係数 (ma/100a)	ha 当り 所 要 量			備考
			H O	K C I			石 灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

※該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

※該当なし

(第14表-1)

地 点	流 域 面 積 (km <sup>2</sup> )	洪 水 到達時間 (hr)	計 画 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	安 全 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	必 要 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調 節 の 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調 節 後 の 沉 降 量 (m <sup>3</sup> /s)	調 節 後 最 大 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	調 節 前 後 の 最 大 流 量 の 差 (m <sup>3</sup> /s)	最 大 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

※該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流 域 面 積		計 画 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	貯 水 量			計 画 調 節 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	可 能 調 節 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直 接 (km <sup>2</sup> )	間 接 (km <sup>2</sup> )		有 効 (千m <sup>3</sup> )	洪水調節容量 (千m <sup>3</sup> )	多 目 的 (千m <sup>3</sup> )			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係 ※該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 ※該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 ※該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 ※該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 ※該当なし
- (3) 洪水調節要領 ※該当なし

第8節 干拓計画

※該当なし (第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

※該当なし (第16表-1)

長辺 × 短辺	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (cm)	備考

(2) 表土扱い

※該当なし (第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考

(3) 末端道水路配置図

※該当なし

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水

※該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
			計						

(2)心土破碎

※該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名					
			計			

3. 客土

※該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り 客土量 (m <sup>3</sup> )	土壌の性質		備考
	事業名				現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 [客土材料](%)	
			計		平均	平均	平均	平均				

4. 農地保全

(1)防災林

※該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2)排水工

※該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(3)侵食(崩壊)防止工

※該当なし

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1)計画基準雨量

観測機関名: 浜松特別地域気象観測所 計画基準雨量: 200年確率雨量 98.30mm/hr  $rt = 98.3 \times 1.2 = 117.96$

(2)計画洪水量  $Q = 1/3.6 \cdot f \cdot rt \cdot A$   $f = 0.76$

柄沢池: 6.00m<sup>3</sup>/s 西沢池: 3.71m<sup>3</sup>/s 土沢池: 1.84m<sup>3</sup>/s 松本池: 1.02m<sup>3</sup>/s 松本新池: 0.92m<sup>3</sup>/s

2. 堤体補強計画

地震時の滑り破壊を防止するために、押え盛土、地盤改良を施工する。

3. 取水施設改修計画

取水工: 決壊等を未然に防止し、緊急的に貯水位を低下させるために、緊急放流工を設置する。

洪水吐: 計画洪水量を流下できない、また、劣化・損傷しているものは改修する。そのほか、水路にクラックが著しいものは表面被覆により補修する。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

※該当なし

(第17表-1)

名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )			位置		堤長 (m)	堤体積 (千m <sup>3</sup> )	基盤・地盤地質	貯水量 (千m <sup>3</sup> )		備考
	型式	直接	間接	堤高 (m)	取水位置				総貯水量	有効貯水量	
堤体											
洪水吐	型式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	備考	

2. 頭首工

※該当なし

(第17表-2)

名称	型式	堤体 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計				

3. 揚水機

※該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	

4. 用水路

※該当なし

(第17表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /S)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	地区内	地区外	計		総延長	開渠	その他				

5. 其他のかんがい施設

※該当なし

(第17表-5)

施設名	項目	構造	規模	数量	備考

第2節 排水水門

1. 排水水門

※該当なし

(第18表-1)

名称	項目	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /S)	備考

2. 排水機

※該当なし

(第18表-2)

名称	項目	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /S)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
				全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

※該当なし

(第18表-3)

水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /S)	延長 (m)			構造	備考
	事業				総延長	開水路	その他		
	地区内	地区外	計						

4. 其他排水施設

※該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1)道路の総括表

※該当なし

(第19表-1)

区分	項目 路線名	幅員(m) × 延長(m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同 左 の 延 長 (m)	最 小 曲 線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				

(2)道路主要構造物

※該当なし

(第19表-2)

路線名	項目 名 称	規 模	構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索道

※該当なし

(第19表-3)

名称	項目 延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1)抜根

※該当なし

(第20表-1)

区分	項目 樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 り 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2)除礫

※該当なし

(第20表-2)

区分	項目 対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当 り 平 均 除 礫 量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3)開墾作業

※該当なし

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
	地目	造成工法			
	計				

(4)地目変換

※該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5)末端用水路等

※該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6)末端排水路等

※該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壌改良

※該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調整機能

1. 貯水池

※該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1)頭首工

※該当なし

(第21表-1)

名称	集水面積 (km <sup>2</sup> )		位置		長 (m)	計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			固定部	可動部				
型式	堤高 (m)				計			

(2)導水路

※該当なし

(第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防

※該当なし

(第22表-1)

項目 名称	型式 (m)	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

※該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

※該当なし

4. 埋立

※該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

※該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 千m <sup>3</sup>	面積 (ha)	土量 千m <sup>3</sup>	

(2) 末端用水路等

※該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

※該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水

※該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha) 事業名		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
0.0																
計																

(2)心土破碎

※該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3. 客土

※該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha) 事業名			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
			計					
計								

4. 除礫

※該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

※該当なし

(第23表-7)

区分 \ 項目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植 栽 本 数 (本)	備 考
計						

(2) 排水路

※該当なし

(第23表-8)

区分 \ 項目	延 長 (m)	流 量 (m <sup>3</sup> /s)	構 造	備 考
計				

(2) 侵食防止工

※該当なし

(第23表-9)

名称 \ 項目	構 造	数 量	備 考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

名称	農地防災減災事業		ため池整備事業		位置	牧之原市 白井 地内ほか		柄沢池
堤体	型式	流域(km <sup>2</sup> )	堤高(m)	堤長(m)	堤体積(千m <sup>3</sup> )	堤長幅(m)	貯水量(千m <sup>3</sup> )	備考
	傾斜遮水ゾーン型	0.32	9.40	99.00				
洪水吐	型式	洪水量(m <sup>3</sup> /s)	規模(m)	備考	取水施設	型式	取水量	備考
	越流堰式	8.48	6.50					
名称	農地防災減災事業		ため池整備事業		位置	牧之原市 白井 地内ほか		西沢池
堤体	型式	流域(km <sup>2</sup> )	堤高(m)	堤長(m)	堤体積(千m <sup>3</sup> )	堤長幅(m)	貯水量(千m <sup>3</sup> )	備考
	傾斜遮水ゾーン型	0.14	8.20	78.30				
洪水吐	型式	洪水量(m <sup>3</sup> /s)	規模(m)	備考	取水施設	型式	取水量	備考
	越流堰式	4.19	4.50					
名称	農地防災減災事業		ため池整備事業		位置	牧之原市 白井 地内ほか		土沢池
堤体	型式	流域(km <sup>2</sup> )	堤高(m)	堤長(m)	堤体積(千m <sup>3</sup> )	堤長幅(m)	貯水量(千m <sup>3</sup> )	備考
	傾斜遮水ゾーン型	0.06	8.70	49.00				
洪水吐	型式	洪水量(m <sup>3</sup> /s)	規模(m)	備考	取水施設	型式	取水量	備考
	越流堰式	2.27	3.00					
名称	農地防災減災事業		ため池整備事業		位置	牧之原市 白井 地内ほか		松本池
堤体	型式	流域(km <sup>2</sup> )	堤高(m)	堤長(m)	堤体積(千m <sup>3</sup> )	堤長幅(m)	貯水量(千m <sup>3</sup> )	備考
	傾斜遮水ゾーン型	0.01	7.30	62.50				
洪水吐	型式	洪水量(m <sup>3</sup> /s)	規模(m)	備考	取水施設	型式	取水量	備考
	水路流入式	0.41	1.35					
名称	農地防災減災事業		ため池整備事業		位置	牧之原市 白井 地内ほか		松本新池
堤体	型式	流域(km <sup>2</sup> )	堤高(m)	堤長(m)	堤体積(千m <sup>3</sup> )	堤長幅(m)	貯水量(千m <sup>3</sup> )	備考
	傾斜遮水ゾーン型	0.02	6.60	84.30				
洪水吐	型式	洪水量(m <sup>3</sup> /s)	規模(m)	備考	取水施設	型式	取水量	備考
	越流堰式	0.87	1.70					

2. 堤体補強施設

(1) 堤体補強

地震時の滑り破壊を防止するために、押え盛土、地盤改良を施工する。

(2) 取水施設等

取水工：決壊等を未然に防止し、緊急的に貯水位を低下させるために、緊急放流工を設置する。

洪水吐：計画洪水量を流下できない、また、劣化・損傷しているものは改修する。そのほか、水路にクラックが著しいものは表面被覆により補修する。

第6章 付帯工事計画

※該当なし

第7章 工事の着手及び完了予定時期

着手：平成30年度  
 完了予定：令和3年度 変更前  
 令和(9)年度 変更後

## 第8章 環境との調和への配慮

本地区の作業時においては、低騒音・低振動機械を使用し、水生生物及び鳥類への環境を最小限に抑える。

工事実施中、ため池内の水生生物の避難場所として「いけす」を設置する。

## 第 9 章 換地計画の概要

### 第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

※該当なし

.....

.....

.....

### 第 2 節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

※該当なし

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
計			

#### 2. 換地区を設定する理由

※該当なし

.....

.....

### 第 3 節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考



第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

※該当なし

2. 清算の方法

※該当なし

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
※該当なし				

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

※該当なし

.....

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業種目 \ 項目	事業量	事業費	備考
工事費	1.0 式 (1.0 式)	651,000 ( 970,000)	
測量及び試験費	1.0 式 (1.0 式)	90,000 ( 72,000)	
用地費及び補償費	1.0 式 (1.0 式)	30,000 ( 6,000)	
換地費			
小計		120,000 ( 78,000)	
合計		771,000 ( 1,048,000)	
事務費	1.0 式 (1.0 式)	36,000 ( 52,000)	
総事業費		807,000 ( 1,100,000)	

第 1 1 章 効 用

(第27表)

事業名	区分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備 考
農村地域 防災減災事業 ため池整備事業	営農経費節減効果	△ 877 (△ 1,177)		食料の安定供給の確保に関する効果
	維持管理費節減効果	△ 1,968 (△ 2,627)		〃
	災害防止効果 (農業関係資産)	28,712 (36,210)		農業の持続的発展に関する効果
	〃 (一般資産)	51,487 (46,580)		農村の振興に関する効果
	〃 (公共資産)			多面的機能の発揮に関する効果
				総 費 用 1,482,278 千円 (現在価値化) (1,597,845)
				総 便 益 額 1,589,533 千円 (現在価値化) (2,232,861)
				総費用総便益 1.07 比 (1.39)
	計	77,354 (78,986)		上段:変更前 下段:変更後

第 1 2 章 関 連 す る 事 業

※該当なし

第 1 3 章 現 況 ・ 計 画 図 面

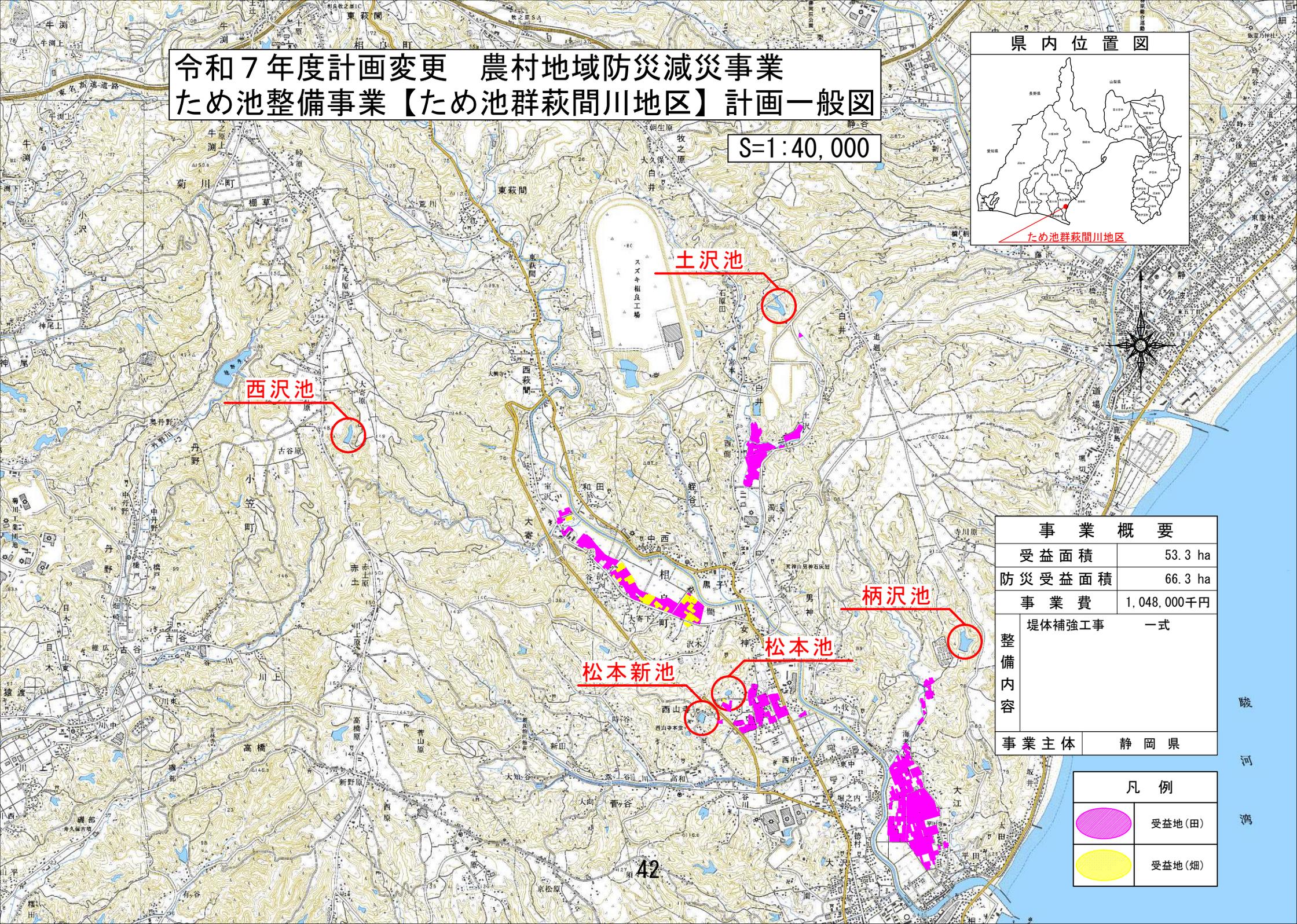
1. 計 画 一 般 図

2. 計 画 平 面 図

3. 土 地 利 用 計 画 図

# 令和7年度計画変更 農村地域防災減災事業 ため池整備事業【ため池群萩間川地区】計画一般図

S=1:40,000

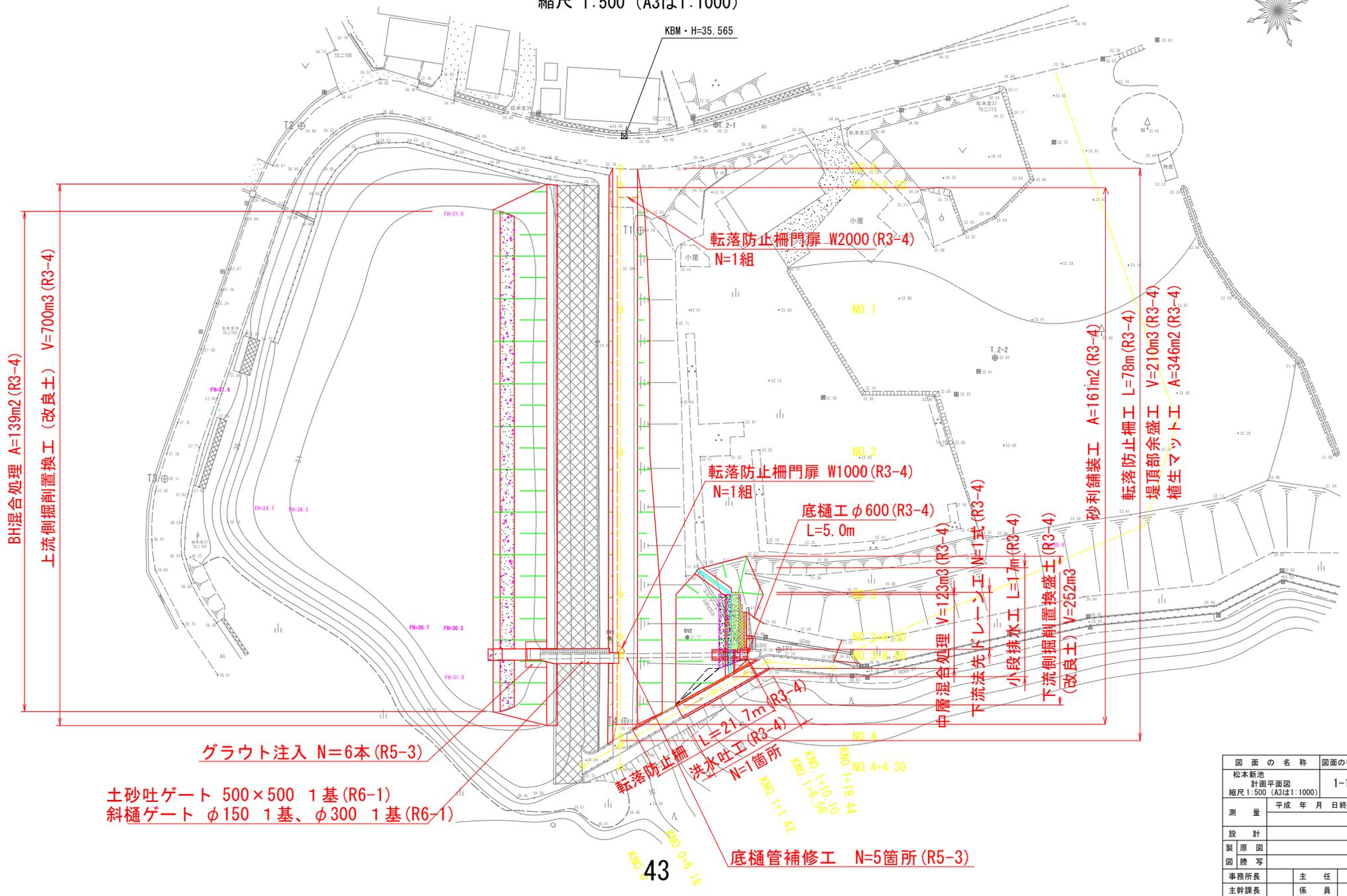


事業概要	
受益面積	53.3 ha
防災受益面積	66.3 ha
事業費	1,048,000千円
整備内容	堤体補強工事 一式
事業主体	静岡県

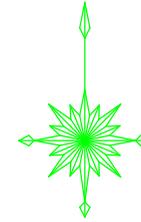
凡例	
	受益地(田)
	受益地(畑)

# 計画平面図

縮尺 1:500 (A3は1:1000)



図面の名称		図面の番号
松本新池 計画平面図		1-1
縮尺 1:500 (A3は1:1000)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図騰写		
事務所長	主任	
主幹課長	係員	



上流側盛土 V=250m<sup>3</sup>(R4-4)  
 下流側盛土 V=1563m<sup>3</sup>(R4-4)  
 NO. 3+2.50  
 転落防止柵 L=71.5m、門扉 N=2箇所 (R4-4)  
 NO. 0

ホウ混合処理 A=360m<sup>2</sup>(R4-4)

土砂吐ゲート φ600 1基 (R5-1)  
 斜樋ゲート φ150 1基、φ300 1基 (R5-1)

KBM・H=30.605

IP. 1  
 IA = 55-13-44  
 R = 21.00  
 TL = 10.99  
 QL = 20.24  
 SL = 2.70

中心点座標(世界測地系)

点名	X座標	Y座標
NO. 0	-143646.282	-29231.560
IP. 1	-143613.697	-29223.737
NO. 3+2.50	-143640.383	-29246.002
NO. 0+7.65	-143592.657	-29223.530
BC. 1	-143603.106	-29226.663
SP. 1	-143613.120	-29226.376
EC. 1	-143622.132	-29230.775
NO. 2+6.50	-143628.100	-29235.753
NO. 2+18.50	-143637.314	-29243.440

基準点座標(世界測地系)

点名	X座標	Y座標
T. 1	-143640.182	-29196.352
T. 2	-143598.818	-29226.887
T. 3	-143626.889	-29243.856
T. 4	-143676.246	-29196.683
T. 5	-143606.085	-29168.860

洪水社中心点座標(世界測地系)

点名	X座標	Y座標
KNO. 0	-143634.184	-29247.338
KNO. 0+5.00	-143633.216	-29248.440
KNO. 0+18.04	-143645.483	-29233.275
KNO. 1+2.10	-143646.026	-29230.110
KNO. 1+4.60	-143649.641	-29228.099
KNO. 1+9.52	-143652.673	-29224.326
KNO. 1+10.78	-143653.462	-29223.343

令和4年度ため池群整備事業(ため池緊急整備)のため池群開川地区松本池堤体改修4工事

図面の名称	図面の番号
松本池 斜樋平瀬図	H
縮尺 1:250 (A3E1:500)	
測量	平成 年月 日終了
設計	
製原図	
図書き	
事務所長	主任
主幹課長	係員

# 計画平面図 西沢池

牧之原市 大寄 地内

S=1:500 (A1)  
S=1:1000 (A3)



基準点座標 (世界測地系)

点名	X座標	Y座標
2809	-141346.092	-32804.604
2810	-141333.962	-32793.207
1392	-141353.425	-32746.106
11	-141307.034	-32558.828
12	-141310.699	-32578.813
13	-141325.871	-32533.951
14	-141360.718	-32586.528
15	-141379.946	-32616.356
16	-141398.175	-32640.133
17	-141403.284	-32674.009
18	-141390.158	-32701.811
19	-141366.855	-32722.291
110	-141354.533	-32737.378
111	-141342.232	-32775.546
DT 2	-141357.654	-32773.451
DT 4	-141373.371	-32743.252
DT 5	-141368.089	-32733.856

堤体中心点座標 (世界測地系)

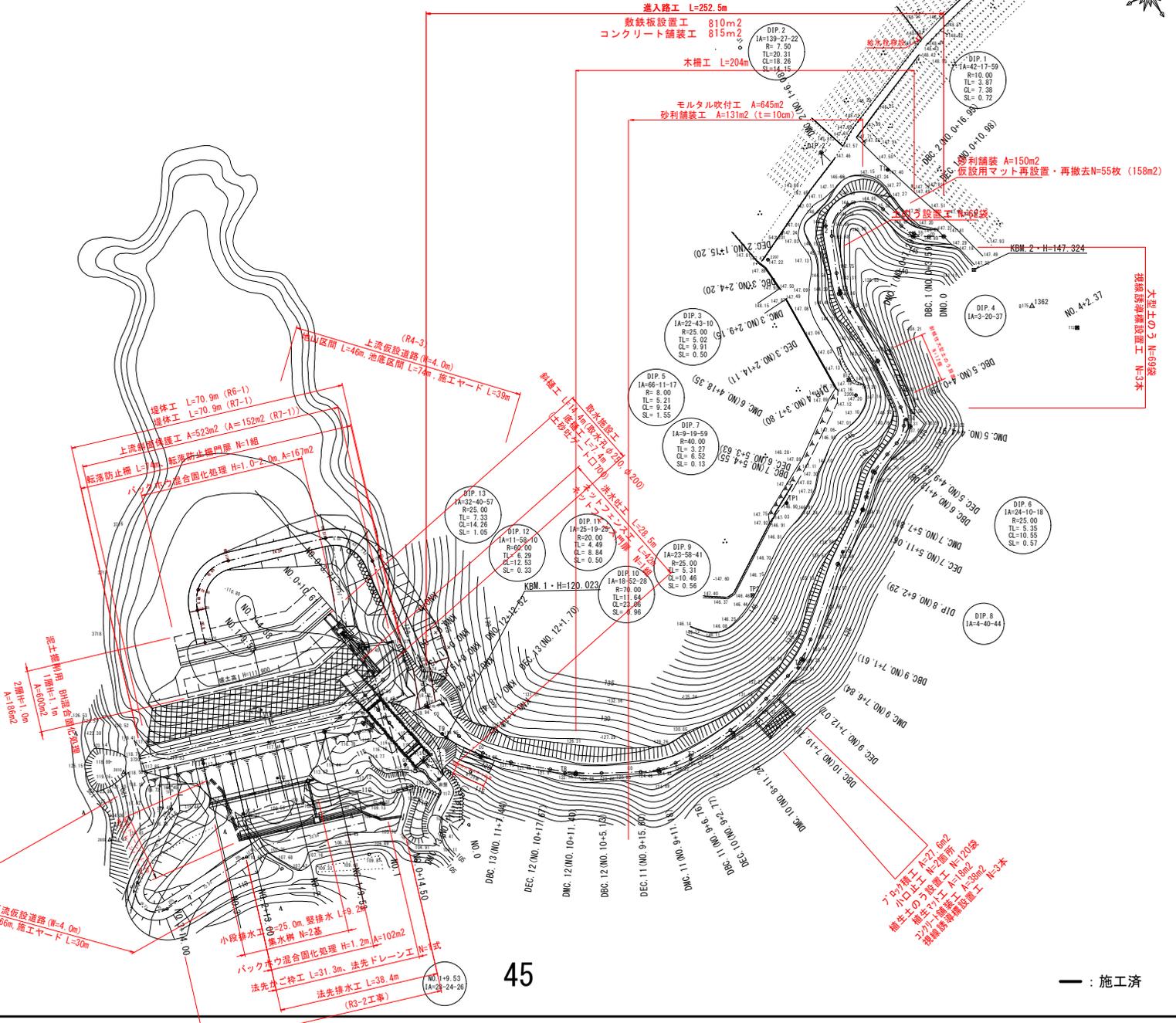
点名	X座標	Y座標
NO.0-3.71	-141346.578	-32721.011
NO.0-10.81	-141347.766	-32727.808
NO.1-4.38	-141350.125	-32741.323
NO.1-9.53	-141351.021	-32746.440
NO.2	-141347.700	-32756.375
NO.2+13.00	-141342.714	-32768.702
NO.3	-141341.354	-32775.341
NO.3+14.00	-141336.912	-32788.618

進入路中心点座標 (世界測地系)

点名	X座標	Y座標
DMO.0	-141327.900	-32555.624
DIP.1	-141324.011	-32561.991
DIP.2	-141326.015	-32570.445
DIP.3	-141328.366	-32584.546
DIP.4 (NO.3+7.80)	-141345.074	-32585.048
DIP.5	-141367.714	-32596.555
DIP.6	-141367.292	-32599.903
DIP	-141373.811	-32606.869
DIP.3 (NO.4+2.28)	-141361.804	-32618.914
DIP.9	-141397.177	-32638.200
DIP.10	-141403.321	-32662.011
DIP.11	-141401.776	-32662.071
DIP.12	-141391.702	-32669.711
DIP.13	-141376.140	-32717.179
DMO.12+12.52	-141356.661	-32722.966
DMC.1 (NO.0+3.59)	-141328.028	-32558.690
DMC.1 (NO.0+7.29)	-141323.572	-32561.418
DMC.1 (NO.0+10.98)	-141320.288	-32563.076
DMC.2 (NO.0+16.35)	-141314.566	-32564.751
DMC.2 (NO.1+6.08)	-141309.187	-32571.428
DMC.2 (NO.1+15.20)	-141313.288	-32578.797
DMC.3 (NO.2+4.20)	-141321.787	-32582.482
DMC.3 (NO.2+9.15)	-141326.477	-32584.059
DMC.3 (NO.2+14.11)	-141321.287	-32584.680
DMC.5 (NO.4+0.28)	-141357.519	-32586.111
DMC.5 (NO.4+4.91)	-141361.761	-32587.776
DMC.5 (NO.4+9.53)	-141366.485	-32591.487
DMC.6 (NO.4+13.08)	-141365.555	-32594.840
DMC.6 (NO.4+18.35)	-141367.778	-32599.611
DMC.7 (NO.5+3.63)	-141370.660	-32603.812
DMC.7 (NO.5+4.55)	-141371.580	-32604.485
DMC.7 (NO.5+7.81)	-141373.706	-32606.862
DMC.7 (NO.5+11.06)	-141376.625	-32609.563
DMC.9 (NO.7+1.61)	-141363.916	-32624.043
DMC.9 (NO.7+6.84)	-141366.678	-32638.449
DMC.9 (NO.7+12.07)	-141366.503	-32643.241
DMC.10 (NO.8+1.24)	-141402.364	-32662.095
DMC.10 (NO.8+2.77)	-141402.427	-32673.612
DMC.11 (NO.9+4.78)	-141402.121	-32671.591
DMC.11 (NO.9+11.18)	-141401.299	-32681.924
DMC.11 (NO.9+15.60)	-141399.548	-32685.972
DMC.12 (NO.10+5.13)	-141396.361	-32694.248
DMC.12 (NO.10+11.40)	-141391.435	-32699.519
DMC.12 (NO.10+17.67)	-141387.518	-32704.407
DMC.13 (NO.11+4.44)	-141387.012	-32711.905
DMC.13 (NO.11+14.57)	-141375.583	-32716.286
DMC.13 (NO.12+1.70)	-141369.080	-32719.153

洪水社中心点座標 (世界測地系)

点名	X座標	Y座標
NO.0	-141341.851	-32734.627
NO.0+7.00	-141346.747	-32733.423
NO.0+11.73	-141353.406	-32732.600
NO.0+15.85	-141357.465	-32731.900
NO.0+19.64	-141362.153	-32731.076
NO.1+6.45	-141369.877	-32729.723
NO.1+14.05	-141375.393	-32728.768



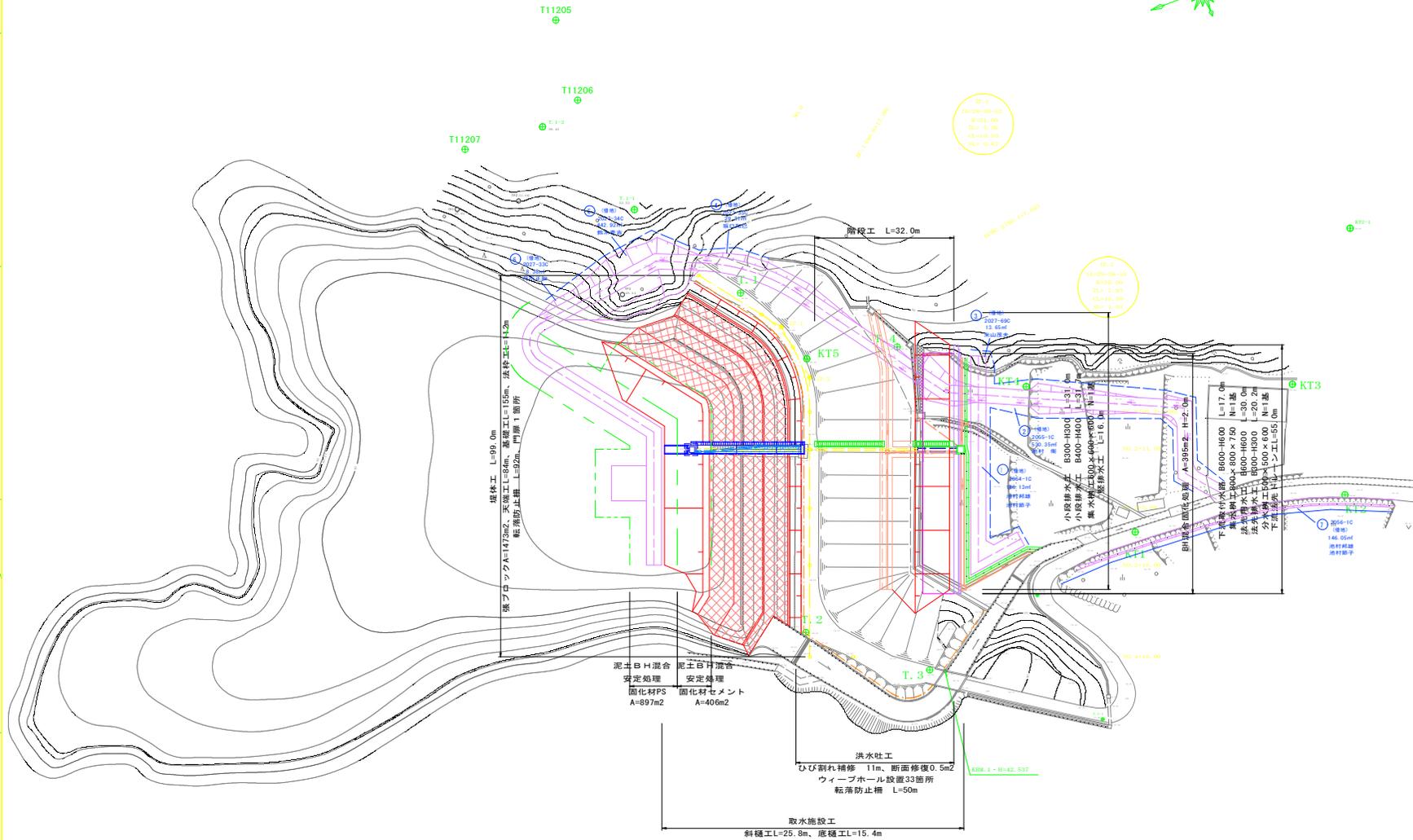
図面の名称	西沢池 計画平面図	図面の番号	1
縮尺	1:500 (A3は1:1000)	測量	令和 年月 日終了
設計		製原図	
図騰写		事務所長	主任
		主幹課長	係員

— : 施工済



計画平面図

S=1:500  
(S=1:1000)



国調基準点座標

点名	X座標	Y座標
T11205	-143214.190	-26991.747
T11206	-143212.512	-27010.618
T11207	-143184.246	-27012.163

中心線座標

点名	X座標	Y座標
NO.0	-143224.732	-27091.916
BB T(No.0+17.00)	-143235.179	-27071.332
LC02 Z(No.1+7.50)	-143239.327	-27080.858
LC Z(No.2+3.00)	-143237.843	-27096.112
NO.2+11.50	-143234.885	-27104.081
NO.2+5.00	-143230.188	-27116.738
NO.3+18.00	-143225.666	-27128.929
NO.4+19.00	-143218.359	-27148.614
IP.1	-143238.466	-27075.561
IP.2	-143240.601	-27085.660

泥土B+H混合  
安定処理  
固化材PS  
A=897m<sup>2</sup>

泥土B+H混合  
安定処理  
固化材セメント  
A=406m<sup>2</sup>

洪水吐工  
ひび割れ補修 11m、断面修復0.5m<sup>2</sup>  
ウィーブホール設置33箇所  
転落防止柵 L=50m

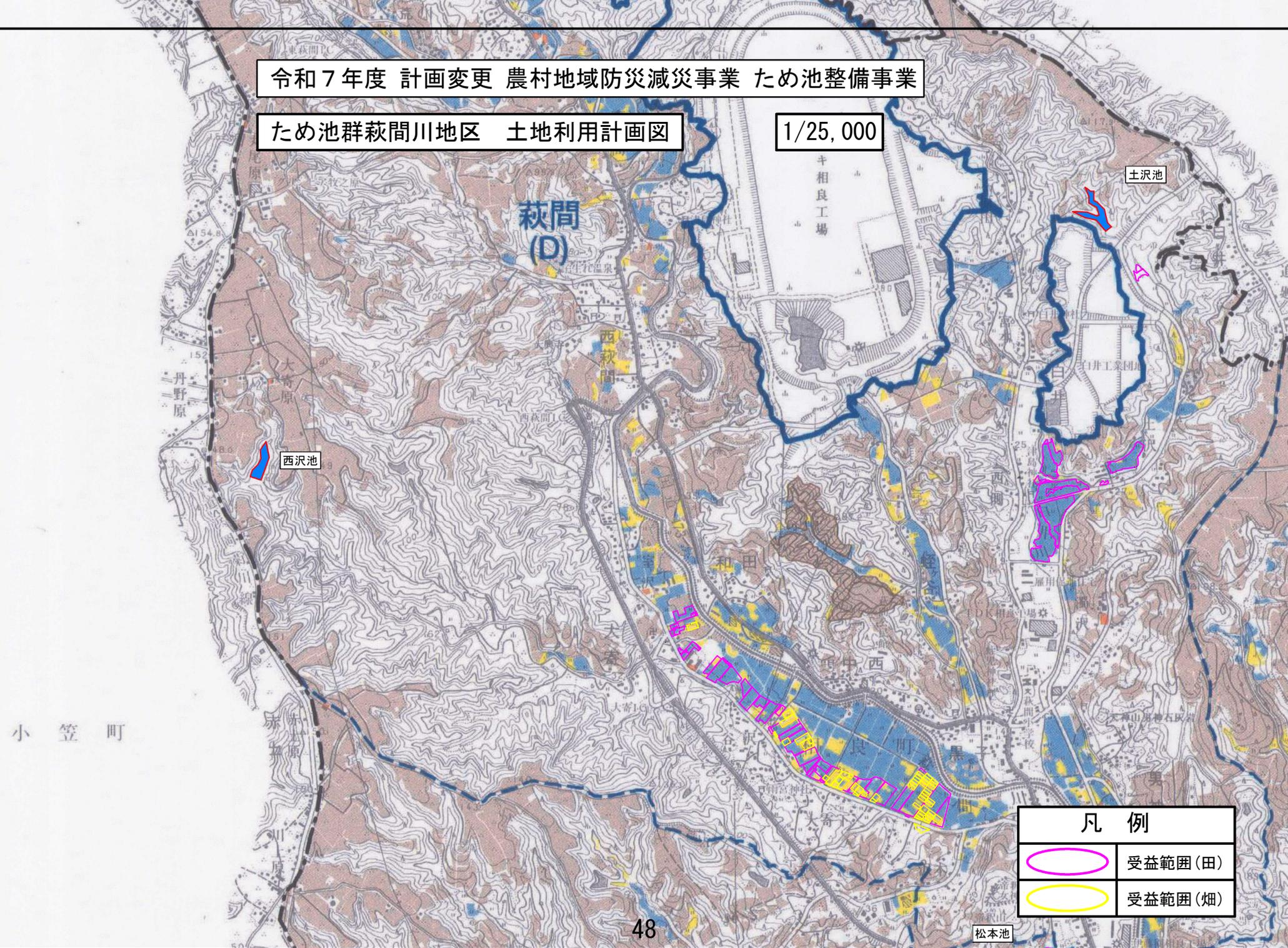
取水施設工  
斜樋工L=25.8m、底樋工L=15.4m

図面の名称	図面の番号
納付地 計画平面図 1:500 (A312:1000)	1
縮尺	平成 年 月 日終了
測 量	
設 計	
製 原 図	
図 勝 写	
事務所長	主任
主幹技長	係 員

令和7年度 計画変更 農村地域防災減災事業 ため池整備事業

ため池群萩間川地区 土地利用計画図

1/25,000

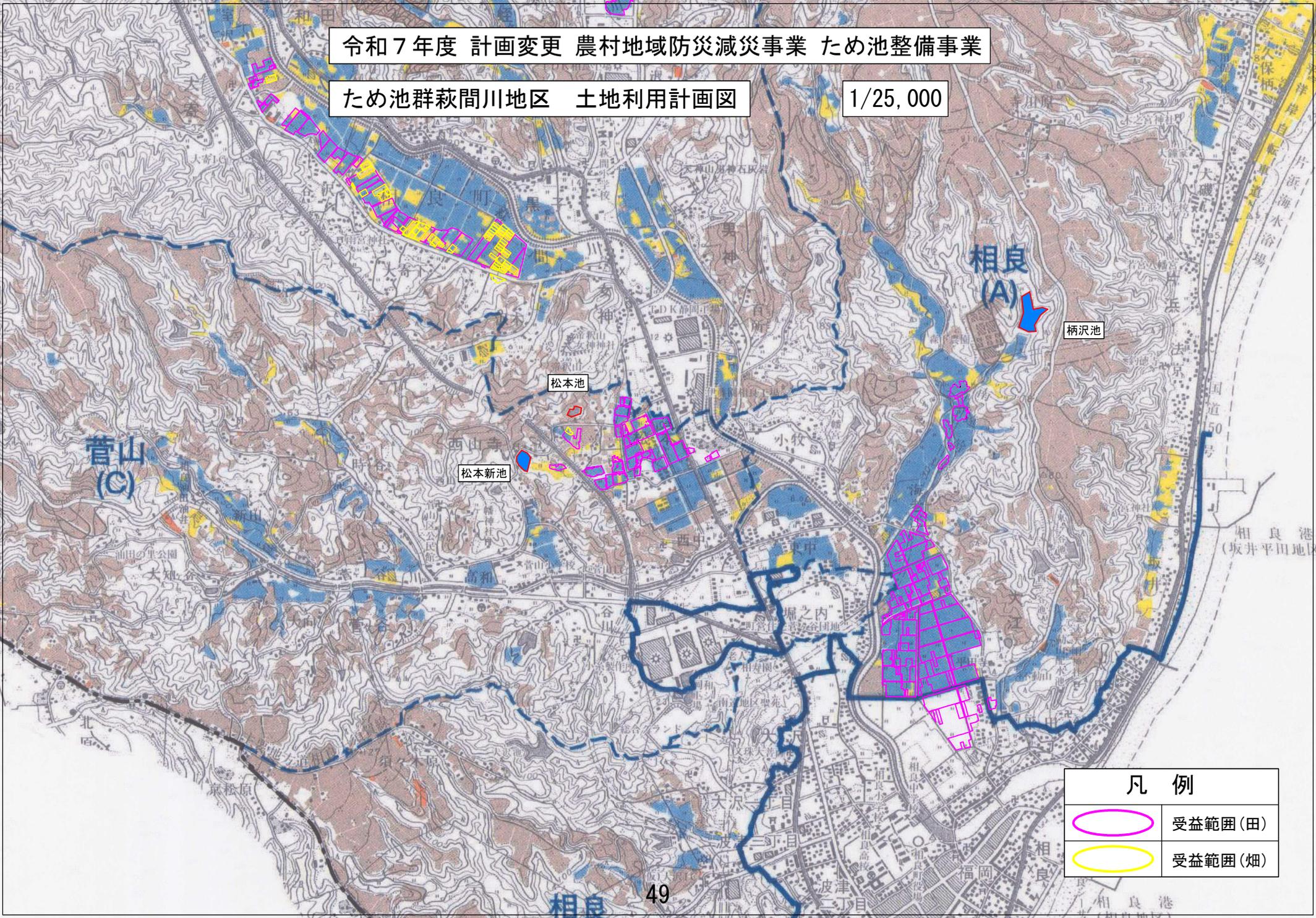


凡例	
	受益範囲(田)
	受益範囲(畑)

令和7年度 計画変更 農村地域防災減災事業 ため池整備事業

ため池群萩間川地区 土地利用計画図

1/25,000



凡 例	
	受益範囲(田)
	受益範囲(畑)